

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

中国の高校生との国際交流会開催

福知山高校は九月二十日(木)・二十一日(金)・二十二日(土)の三日間、外務省の21世紀東アジア青少年大交流計画に協力して、中国湖北省武漢市の高校生十七名を受け入れました。中国の高校生達は福知山高校の生徒の自宅等に二泊三日のホームステイをしました。



二十日の夕方に到着した一行を吹奏楽部の演奏で出迎え、歓迎セレモニーでは茶道部の生徒がお茶の接待をしました。

二十一日には、中国の高校生はホームステイ先の生徒と一緒に登校し、各教室で一緒に授業を受けました。その日、文理科学科の生徒は学校を代表してパワーポイントで福知山高校の紹介や、文理科学科の取組内容を英

語で発表し、国際交流会を開催しました。中国の高校生からは「中国伝統舞踊」や、京劇風のお面を着けての歌と踊りの発表がありました。

その後、少人数のグループに分かれて中国の高校生から中国語を教わりました。始めはお互いに緊張していましたが、すぐにうち解けて、英語と漢字の筆談で楽しい交流の時間をもつことができました。この経験は来年の中国研修旅行における北京師範大学附属高校との交流への自信となったことと思います。二十三日の朝のお別れの時には、仲良くあった両国の高校生が別れを惜しんで互いに涙ぐむ姿も見受けられました。

生徒の声

中国の高校生の人達との交流会があると聞いて、言葉の違う外国の人達と上手く交流ができるかと不安でした。しかし、実際にやってみると意外と自分の言いたいことも伝わり、相手の方の気持ちも何となく伝わってきました。

桃映中学校出身)

中国語講座では、英語を使って中国語を教えてもらいました。その英語がすごく上手なので驚きました。私は中国語と英語の両方を教えてもらっているような感じがしてとても勉強になりました。訪日団のみなさんはきつと訪日の際には日本の文化などを学ばれてこられたと思います。私たちも来年中国へ行くときにはしっかりと準備をして行きたいと思いました。

南陵中学校出身)

中国の高校生の方の英語はとても流暢で私は唖然としてしまいました。私は少し恥ずかしかったけれども思い切って一人の方に「Hello」と声をかけたら、笑顔を返してもらったので緊張もほぐれ、英語で自己紹介をしたり、一緒に写真を撮ったりしました。

その後、中国語を教わりました。私は「Hello」など簡単な挨拶の仕方でしたが、発音がとても難しかったです。教えて下さった中国の高校生の方はとても面白く、優しくかったので中国語の勉強が楽しくできました。今回の交流会で中国の高校生と交流することができ、来年中国へ行くのがとても楽しみになりました。

夜久野中学校出身)



中国の高校生の方達との交流会をして、いろいろな良い経験を積むことができました。始めは恥ずかしかったのであまり話すことができませんでしたが、しだいにうち解けて気軽に話をするようになりました。交流会の終わりにほんとも仲良くなれたことがうれしかったです。中国語講座では発音は難しかったですが、丁寧に教えてもらったのでよく分かりました。この交流会で特に感じたことは、英語ってかなり大切なんだなあ。」ということでした。

綾部中学校出身)